

# 令和6(2024)年度 東京家政大学

# 東京家政大学短期大学部 新任教員紹介

## 健康科学部

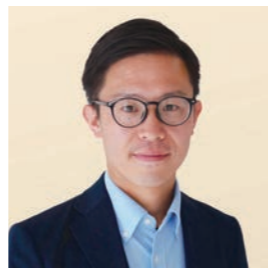
リハビリテーション学科 田中 繁治 担当科目：医療英会話、看護・医学英語、コミュニケーション論、基礎理学療法学演習、等

### 《教育への抱負》

理学療法士は知識・技術がしっかりとしていることはもちろんですが、ヒトの「痛み」を理解できる心の優しさが大切です。他者の心を慮ることのできるセラピストの育成を目指します。そして、リハビリテーション学科から世界に羽ばたく人を応援します。

### 《こんなことを教えたい》

作業療法士や理学療法士として社会で活躍できる心根の優しい女性セラピストの育成に貢献したいと思えます。また、これからの時代はグローバル化が必須の時代となります。言語だけではなく、グローバルマインドの育成にも力を入れ、世界における健康問題について伝えていきたいと思えます。そして、それぞれの学生が個性を發揮しながら、セラピストとして、どのようにしてその健康問題に貢献できるかを一緒に考えていきたいと思っています。



## 栄養学部

栄養学科 服部 浩子 担当科目：栄養士実習、総合栄養学演習Ⅰ・Ⅱ

### 《教育への抱負》

食のプロフェッショナルとして、社会貢献できる人材を育成したいと考えています。

### 《こんなことを教えたい》

自分自身の実務経験や発展途上国(イエメン共和国・グアテマラ共和国)での駐在生活経験をもとに、管理栄養士・栄養士という専門職について伝授して、興味関心を持って積極的に学ぶ姿勢を引き出します。学生自らの健康づくりならびにウェルビーイングと一緒に考えていきたいです。学外での実習が盛り多いものとなるようサポートし、個性豊かで人に寄り添えるプロフェッショナル養成を目指します。



## 子ども支援学部

子ども支援学科 福水 道郎 担当科目：健康保育、特別支援教育、神経科学、知的・肢体不自由・病弱・聴覚・視覚各障害児の心理・生理・病理、人体の構造と機能

### 《教育への抱負》

ヒトのカラダを深く知り、子どもの病気や障がい・医療に関する知識を十分理解し、健康を育む上で何が必要なかを考えて行動し、医療的ケアも安心して実践できる保育者・教育者の育成を目指していきたいです。多様性のある子ども達の育成を支援する喜びを得られるよう、ともに歩みたいと思えます。

### 《こんなことを教えたい》

保育・教育において健康・医療に関わる専門的知識を求められる機会が多くなっています。医療保育専門士とその関連職種、特別支援学校教諭は保育・教育に重要な知識である成長・発達・障がい・病気に伴う精神的・身体的負担を緩和し、子どもが安心して前向きに過ごせるような支援を先頭に立つて行うことができます。専門保育・特別支援教育だけでなくどの領域に進んでも、学生が柔軟に対応できるよう現役小児科医として自分の持てる全てを教えていきたいです。



## 人文学部

心理カウンセリング学科 温泉 美雪 担当科目：発達臨床心理学、障害者・障害児心理学、心理アセスメント実習、他

### 《教育への抱負》

学生の皆さんには世の中にある社会的課題に眼向け、「自分にできることは何か」を問う姿勢を養っていただきたいと思います。

### 《こんなことを教えたい》

私は認知行動療法を専門とし、発達特性のある方が自分らしく満ち足りた生活を送るための支援を提供しています。教育者としては学生の方々に対して、神経発達症だけでなく不安症など支援を必要としている人がどのような困難に直面しているのかを実感し、地域ぐるみでそれを解消する方法を考えていただきたいと思います。心理職としての理論と実践力を、そして地域をエンパワーする発想力を養うことを後押ししていきたいと願っています。



教育福祉学科 柳沢 志津子 担当科目：ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)、社会調査実習、社会福祉演習(ゼミ)、他

### 《教育への抱負》

社会福祉の学びを通して探究心を養う場にしたいと思います。

### 《こんなことを教えたい》

社会福祉実践は、時代や社会情勢にあわせて変化が要請されます。しかし一方で、人権尊重や社会的包摂など、どの時代、どの社会でも共通した普遍的な基本理念も重要な視点です。目の前にある具体的な事象だけでなく、その根本にある本質的な課題やその構造を理解できる力を養いたいと思えます。



## 短期大学部

栄養科 渡邊 和寿 担当科目：生化学実験、基礎栄養学、解剖生理学実験、栄養生理学実験

### 《教育への抱負》

栄養と体の仕組みについて興味を持ってもらえるよう教育に取り組みたいと思えます。

### 《こんなことを教えたい》

私は大学、大学院、海外留学、そして就職と、さまざまな地域やさまざまな人々との出会いを通じて、地域の特性や人々の多様性を感じ取り、楽しみながら生活してきました。これらの経験を通じて得た知識や洞察を共有し、皆さんの活動に活かしていただき、キャリアアップに役立てていただければ嬉しく思います。あらゆる面から刺激を受け、知識を深め、情熱を燃やせる人の成長を支援したいです。



キャンパスの四季

狭山キャンパス

板橋キャンパス

Tokyo Kasei Press Vol.101 学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ 令和6(2024)年7月発行

- 発行人 菅谷 定彦 (学校法人渡辺学園 理事長)
- 編集責任者 岩井 絹江 (広報・宣伝部 統括)
- Tokyo Kasei Press WG 編集メンバー 川口恵美子、後藤直哉、綿貫里穂、松井渚、嶋田彩乃
- 表紙デザイン 坂本 理恵
- 編集・発行 学校法人 渡辺学園 広報・宣伝部 千173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1 電話：03-3961-5690
- 制作・印刷 上毛印刷株式会社
- 広報誌なでしこバックナンバー
- なでしこ101号アンケートにご協力お願いします



次号102号は、令和6年10月発行の予定です。掲載希望の記事がありましたら、広報・宣伝部にご連絡ください。